

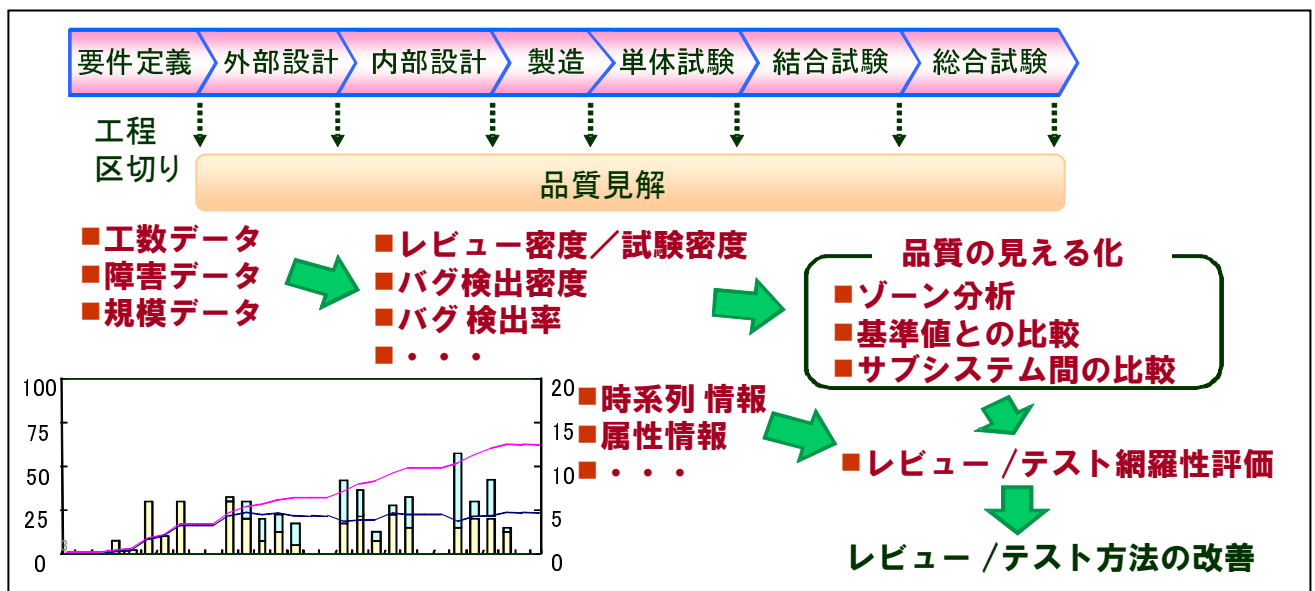
# 開発の見える化による ソフトウェア品質向上支援

奈良先端科学技術大学院大学と大阪大学における「エンピリカル・ソフトウェア工学」に基づく技術により、ソフトウェア開発プロセスを客観的データによって「見える化」することで、品質問題の早期発見や次期開発プロセスのための改善など、QCDの向上をEASE創研が支援いたします。

## サービス内容

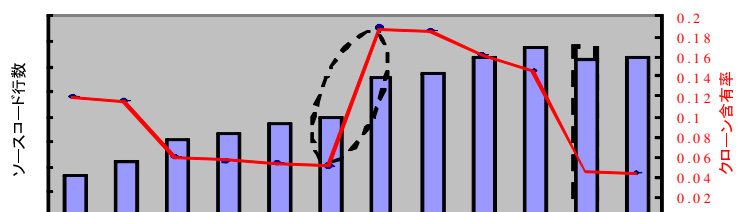
### 品質の見える化・品質向上活動支援

- 工程ごとの品質見解書の作成支援
- 効果的なレビュー方法, テストの基礎のレクチャー
- 工数, 不具合, 規模データの計測方法
- レビュー密度, 試験密度, 不具合密度のとらえ方
- 品質評価のための属性情報, 時系列情報の計測



### コーディング品質の見える化支援

- 初心者の書いたコードと熟練者の書いたコードの違い
- ソースコードの複雑さの尺度
- コードクローン計測
- 低品質モジュールの検出



## ● EPMツールを活用したプロジェクトの見える化支援

- ▶ 開発の進捗, 不具合の対処状況や各種品質指標の可視化に加えて, ソースコードの変更状況をリアルタイムに可視化することで, コーディング工程以降のリスクの早期発見を支援します.
- ▶ ツールの運用ルール導入を支援し、分析・フィードバックのノウハウを移転

## ● データ計測コンサルティング・分析レポート作成

- ▶ ソフトウェア開発管理におけるデータ計測・活用のレベル診断
- ▶ 組織として継続的に計測・蓄積すべきデータ項目についてコンサルティング
- ▶ 過去のプロジェクトの実績データから品質・生産性・利益率等に影響する要因を統計的に分析し、次期開発のプロセス改善の手がかりをレポート

## ご利用の手順

### 1. 機構へのご利用のお申し込み

- ・機構からEASE創研への分析依頼
- ・EASE創研によるヒアリング

- ▼ ⇒ **取り組むべき品質向上活動や見える化活動を明らかにします**
- ・EASE創研による費用見積もり、実施計画書作成

### 2. EASE創研と個別利用契約を締結

- ・EASE創研によるコンサルティングの実施

- ▼ ⇒ **各技術についての講習会、演習、サンプルデータの提供も行います**

### 3. 分析結果レポートなどの成果物の受領



### 4. 費用支払い

機構を利用することで安価にご利用いただけます。